

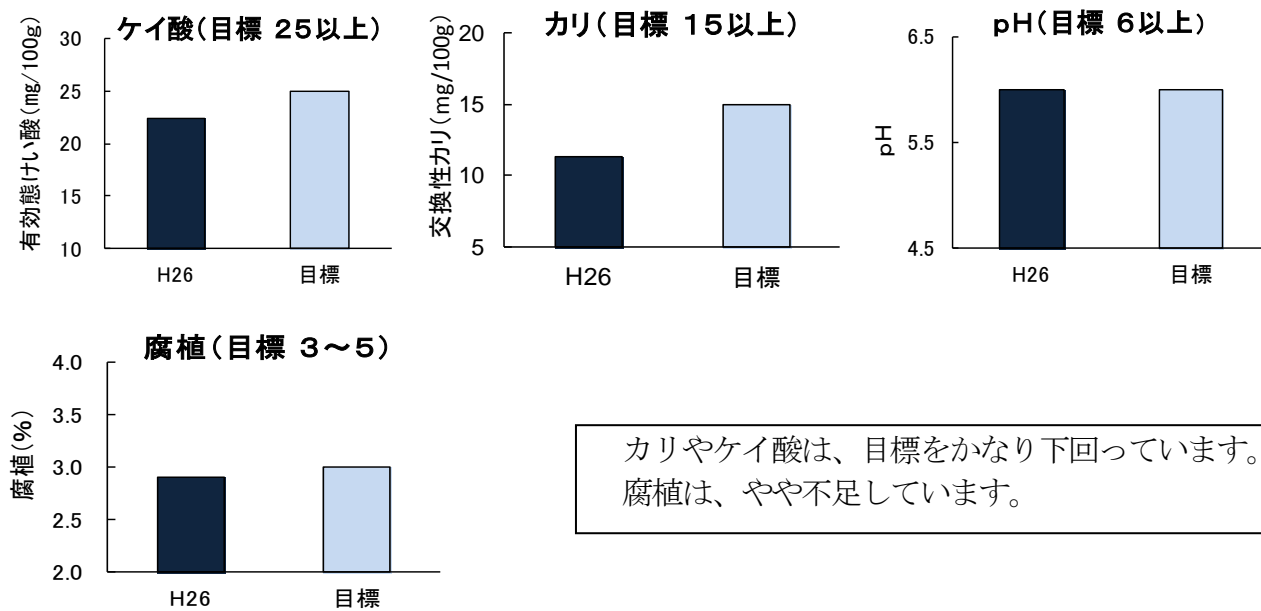
農作業特報

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

高品質で美味しい米づくりには、土づくりが不可欠です。
美味しい「黒部米」のために、土への愛情を込めて、
元気な土づくりをお願いします。



(1) 黒部市内の水田土壌の実態（平成26年度土壌調査の結果）



カリやケイ酸は、目標をかなり下回っています。
腐植は、やや不足しています。

(2) 「元気な土づくり」のポイント

○ポイント1：土づくり資材の施用

土壌酸度の矯正や不足養分の補給として → けい酸質資材など土壌改良資材の施用

○ポイント2：有機物の施用

腐植含量の増加、物理性改善のため → 堆肥や発酵鶏糞などの有機物の施用
ヘアリーベッチなどの地力増進作物の活用

○ポイント3：秋耕と深耕

深耕等による作土の増加と排水性の改善のため → 作土深15cmの確保
秋耕して、稲わらの腐熟促進

ポイント1：土づくり資材の施用

土づくり資材の施用で、葉や根を丈夫にし、病気や倒伏に強い稲を作りましょう。

資材名	資材の特徴	10a当り施用量
珪酸石灰	稲体を丈夫にし、倒伏やいもち病の抵抗性が増し、PH矯正に効果がある資材	200kg
米取けいさん鉄	秋落ちしやすい砂質浅耕土等の鉄分補給と稲が吸収しやすい珪酸を同時施用する資材	80kg
シリカロマン	ケイ酸(25%)、リン酸(5%)、苦土(7%)、鉄(5%)を一度に施用できる複合資材	100kg



ポイント2：有機物の施用

○堆肥や発酵鶏糞の施用

(乾田の場合)

堆肥の施用	秋施用の場合	春施用の場合
牛ふん堆肥	2 t	2 t
豚ふん堆肥	1 t	0.5~1 t
発酵鶏糞	150kg	100kg

- ・堆肥を散布した場合は、速やかに耕起作業を行いましょう。
- ・春施用の場合は、基肥チッソを1~2kg減肥して下さい。

○地力増進作物の種類と活用方法

	播種時期	播種量(10a)	鋤込時期
レンゲ	9月	2~4 kg	開花最盛期
エンバク	9月下旬~10月上旬	4~6 kg	4月~5月
ヘアリーベッチ	9月下旬~10月上旬	4~6 kg	4月~5月
クロタラリア	6月~8月	6~8 kg	開花始期

- ・生育量大きい場合は、鋤込み難いので鋤込時期を早め、ロータリーの2回掛けを行って下さい。
- ・鋤込後の作付作物により、基肥チッソの減肥が必要となります。

ポイント3：秋耕と深耕

作土層が浅いと、根が十分に伸長できなくなり、気温や水分変化の影響を受けやすくなります。

○秋耕の実施

- ・秋耕により、稲ワラの腐熟が促進され地力改善につながります。また、田植後の田のワキも少なくなり、翌年度の初期生育の確保が容易になります。
- ・腐熟を促進するために、秋耕後は排水溝を設けましょう。

秋の土づくり運動実施中 9月15日~11月15日